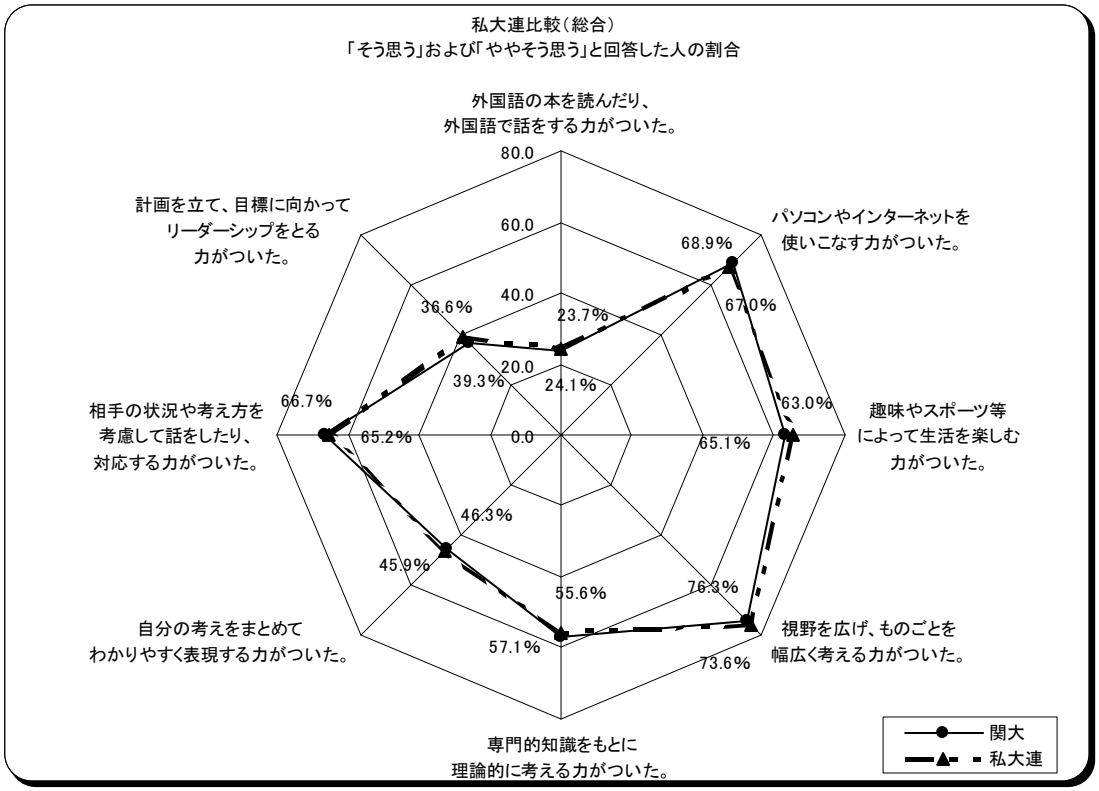
大学生活で身についたこと

問43　大学生活でこれまで身についたと実感できることを評価してください。



「視野を広げ、ものごとを幅広く考える力がついた」がトップ

大学生活で身についたことについて、8つの項目について回答してもらった。

レーダーチャートでは、「そう思う」または「ややそう思う」と回答した人の割合を示している。

最も割合が高かった項目が、「視野を広げ、ものごとを幅広く考える力がついた」で73.6%、第2位が「パソコンやインターネットを使いこなす力がついた。」(68.9%)、第3位が「相手の状況や考え方を考慮して話をしたり、対応する力がついた。」(66.7%)となっている。

全国平均でも同様の傾向であり、順位は全く同じ結果となっている。

一方、最も割合が低かったのが「外国語の本を読んだり、外国語で話をする力がついた。」で23.7%と全8項目の中でも極端に低い数値となっている。語学の能力、特に「話す」の能力については、大学の必修科目だけでは、なかなか身につかないようである。

全国平均との比較では、8項目すべてにわたって3ポイント以上の差がなく、レーダーチャートの形もほぼ同様の八角形となっている。

前回この項目について調査を実施した平成10年度との比較をしてみると、特に差が大きかったのが、「専門的知識をもとに理論的に考える力がついた。」(57.1%)で16.8ポイントの上昇、「パソコンやインターネットを使いこなす力がついた。」についても11.2ポイント上昇している。「パソコン」については、時代の流れもあるだろうが、「専門的知識」については、それを授けることが使命である大学にとっては、喜ばしいことである。

学年別で見ると、当然のことではあるが、各項目において学年が上がるにつれて、身についたと実感している人の割合が高く。また、学生生活が充実している人ほど、同様にその割合は高くなっている。

大学では正課教育や正課外教育を通して、幅広い知識・能力を身につけることができる。一度しかない大学生活を大いに謳歌して欲しいものである。